

マゴソ通信



マゴソスクールを支える会が発足して、間もなく1年が経とうとしています。

当初、マゴソスクールの経済状態と運営に必要な金額を伝えられ、あまりに高い目標に途方に暮れんばかりでしたが、皆さまの力強いご支援により、想定以上のペースで支える会の輪が広がっています。リリアンさん、オギラさんから直接伝えられたメッセージが随分後押ししてくれたと実感しております。

自転車操業とは言え、マゴソスクールの運営はなんとか維持できています。それどころか、音楽フェスティバルでのマゴソスクールの快進撃やOBOGの活躍の知らせが次々に飛び込み、子どもたちの頑張りや喜びに私たちも益々カブられています。

一方ケニアの状況は、日本と同様に、否、それ以上に格差社会と言うのでしょうか、貧しい人、隅っこに追いやられている人々が一層虐げられる、そんな様子が伝わってきます。各地のセカンダリースクールでの放火事件やスラムでの建物の取り壊し・立ち退き、海岸やサバンナの開発など、社会的に弱い人が生き難い、そんな状況にあるのかもしれない。この度ケニアで行われた TICAD VIで日本国が約束した投資（援助）がその状況を助長するのでは、と危惧させられています。

そんな状況だからこそ、一人でも多くの子どもたちに夢を与え続けられる様に、のびのびと勉強に、音楽に、生きていくことに取り組めること、それを喜びとして私たちも進んで行けることを望んでいます。

最後になりましたが、皆さまの温かい支援に心から感謝を述べさせて頂くと共に、今後も引き続きご支援をお願いいたします。そして何よりも、マゴソの子どもたちが私たちに届けてくれる喜びを、一人でも多くの人たちと共有できる様、千晶さんたちの国内ツアーやケニアへのスタディツアーに、マゴソスクールを支える会の活動に、お知り合いの方をお誘い下さいます様お願い申し上げます。

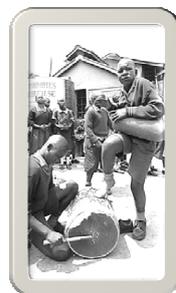
マゴソスクールを支える会会長 大城研司



ケニア音楽フェスティバル

今年もたくさんの優勝者、入賞者

出場することは、マゴソの子どもたちにとって非常に大きな力になります。マゴソの子どもたちは孤児が多く、浮浪児だった子どもたちや、極度の貧困、虐待、家庭崩壊、一家離散などの過酷な経験をしてきた子どもたちが多く、マゴソで学んでいる今も、多くの問題を抱えている子どもたちがほとんどです。そんな子どもたちにとって、音楽活動は、心の癒しにもなり、仲間との絆を強めたり、自信をつけたりする効果があります。



マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市市大字萱町 5 4 - 1

Mail: info@magoso.jp HP: http://magoso.jp/

Facebook: https://www.facebook.com/magososupportersclub/

早川さんからのメッセージ

マゴソスクールを支える会が2015年10月に発足してからはじめての日本全国ツアーを行いました。

2016年4月23日から7月10日の期間で合計80回の講演とライブを行い、関西、山陰、山陽、九州、沖縄、四国、中部、東海、信州、関東、東北、北陸、北海道を旅しました。日本全国各地で暖かく迎えてくださった皆様、トーク&ライブに来てくださった皆様、イベントを主催してくださった皆様、宿泊や食事を提供してくださった皆様、物販や会場作りなどのお手伝いをしてくださった皆様・・・多くの皆様にお力添えをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。心からお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

マサイのジャクソン・オレナレイヨセイヨさんと第二夫人の永松真紀さん、マゴソスクールのお母さんリリアンとオギラ教頭先生、ドゥルマ民族のタイコ奏者の大西匡哉さん、NPO アマニヤアフリカ代表の石原輝さん、マゴソスクールを支える会事務局長の松岡英輝さん。そして私と、このメンバーで、日本全国各地でアフリカトーク&ライブをしながら旅しました。とても楽しく有意義な旅でした。

特に、リリアンとオギラ来日ツアーは、マゴソファミリーとして日本とケニアの仲間たちが一体となった素晴らしい体験でした。新しい出会いもたくさんいただきました。

私とリリアン、オギラは、マゴソスクールを支える会のことを、「マゴソ・ジャパン」と呼んでいて、マゴソスクールの子どもたちにも、マゴソファミリーはケニアにだけではなく日本にも家族がいるんだと話しています。マゴソファミリーの一員として、子どもたちを守り、未来を共に考え、一緒に歩んでくださる仲間が、遠い日本にもこんなにたくさんいるんだということを、リリアンとオギラは実感し、とても心強く思ったようです。私自身もそうでした。

一ヶ月間の日本滞在を経て、彼らはケニアに帰って再びキベラスラムの現実に戻り、子どもたちやスラムの仲間たちと共に毎日を生きています。

キベラスラムの現実だけにどっぷりと浸かっていると、時には抜け道のないトンネルの中をさまよっているような行き詰まりを感じることもありますが、こうして違う世界で暮らし、やはり毎日がんばって生きている人々の人生に触れ、応援をいただけることは、どんな困難があってもまたその先に向かっていく力を与えてくれます。

講演で毎日、リリアンとオギラの言葉を通訳しながら、そしてキベラスラムからの命の歌を共に歌いながら、私の中にも様々な思いが駆け巡り、新しい気付き

を得る瞬間が何度もありました。まずは、リリアンとオギラの、子どもたちを助けたい、子どもたちが苦しみから抜け出しその先より良い人生を生きられるチャンスを得てほしいという思いは、彼らの実体験に基づく、本当に深い真剣な願いだということをつくづく実感しました。

マゴソスクールの子どもたちひとりひとりに、彼らは、幼いときに辛い人生を必死で生き抜いていた自分自身の姿が重なり、どの子どもも他人事とは思えないのだと、だからこそそんな子どもたちに惜しみない愛情と思いやりを注ぎ続けることができるのだと思います。

そして、多くの子どもたちが、本当ならばもっと生きることができたはずなのに、早くに命を落としていかねばならなかった様子や、人生が転落していく人々、犯罪に走る大人や子どもたちなども数多く見てきているからこそ、あきらめたくない、心の底から願っているのだと、彼らの言葉や表情からひしひしと伝わってきました。

人それぞれの役割があります。リリアンやオギラは、スラムの子どもたちと毎日を過ごし、かけがえのない一人ひとりの子どもたちの命と向き合い、毎日を闘っています。私の役割は何だろうか、毎日毎日、考えさせられました。

この21世紀、私たちの世界は多くの問題を抱えています。これまでの時代には出来なかった新しい動きを作っていく可能性に満ちた時代になったと思います。私たちは出会うことでお互いを理解しあい、共に地球の未来を作っていく仲間になれる。私は、アフリカと日本とのつながりをどんどん広げていって、すぐそばに生きているように身近に感じることができるよう、ケニアの仲間たちの声を伝え、その命の躍動や輝きを伝えていきたいと思います。また、ケニアの仲間たちにも、日本ではどんな問題を抱え、どんな喜びを持って人々が生きているかを、伝えていきたいです。

そして、お互いの悩みを共有しあい、励ましあい、協力しあっていくことで、より良い未来を作っていく力を生み出していきたい。それが私の願いです。

これからもますます動いていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。

常日頃からの皆様のご支援に心から感謝申し上げます。これからもどうかマゴソスクールの子どもたちとスラムの仲間たちを応援してください。そして、皆様の毎日の思いも聞かせていただけると大変うれしく思います。マゴソファミリー、共に歩いていきましょう。

2016年8月22日 寒さが緩んできたナイロビにて 早川千晶

オギラ先生からのメッセージ

Hello. I am happy to be in Japan for the third time. When I was planning to come to Japan, I had objectives to fulfill and I think I did my best. Some of the objectives were: To meet our old friends, To meet new friends, To tell people reasons why I teach in Kibera, To network and learn new things that will make me a better teacher, To acknowledge and appreciate the good job our Japanese friends are doing to support Magoso pupils. It was also a chance to say thanks to those who supported my son's hospital bill. It was an experience of visiting different places and also attending hospital in Japan.

After the trip I feel encouraged for the good work we have done together with everybody who was involved. Magoso supporters club is a wonderful group, and I wish more people to join.

My future plans: To continue helping children, giving them hope of a better future and also telling them to work hard. I will always tell them that there are dedicated people who are supporting them and therefore they should not give up.

If there is another chance of coming to Japan for the sake of Kibera children then I am always ready.

Thank you very much God bless magoso, God bless Kenya, God bless Japan,

..... we hold our hands together for us to be more strong,

Hezekiah Ogira, The Deputy Head Teacher, Magoso School

こんにちは。3回目の訪問ができてうれしく思っています。日本に来るに当たり、私は目的を持ち、最善を尽くそうと思っていました。目的は次のようなものです。旧友と再会する、新しい友達を作る、私がキベラで教えるようになった理由を伝える、ネットワークを作り、より良い教師になるために新しいことを学ぶ、マゴソの子供たちを支えるために日本のみなさんがやってくださっていることに感謝を伝える。そして、今回のツアーでは、私の息子の入院費を援助してくださった方々にお礼を伝えることもできました。また、日本各地で様々な場所を訪問できたこと、また日本の病院も訪問できたことは貴重な経験でした。

ツアーを終えて、私はツアーで出会ったすべてのみなさんと一緒に成し遂げた成果に励まされています。マゴソスクールを支える会は素晴らしい会です。さらにたくさんの人々に参加していただくと嬉しいです。

私はこれからも、子供たちを助け、より良い未来への希望を与え、そのために熱心に勉強するよう伝えていこうと思っています。そして、彼らに言い続けるでしょう。「君たちを支えようと頑張ってくれている人がいる、だからこそあきらめてはいけないのだ」と。もしもキベラの子供たちのために再び来日できるチャンスがあるのなら、私はいつでもやる気満々です。

ありがとう。マゴソに神様の祝福を、ケニアに神様の祝福を、日本に神様の祝福を.....より強くなるために一所に手を携えていきましょう！！

マゴソスクール教頭 ヘゼカヤ・オギラ



6月4日、マゴソスクールを支える会主催の「マゴソファミリーツアー」が桑名で行われました。



早川さんがケニアに戻り、久しぶりにそろうた、ママ千晶、ママチュチュ（リリアン）、オギラ先生

2016年秋のポレポレツアー（大西匡哉&早川千晶）

お近くでイベントがあればぜひご参加ください！！詳細は会のホームページで。

10月

1日(土)	神戸市長田区	2日(日)	大阪府茨木市	3日(月)	大阪市北区
4日(火)	大阪府狭山市	5日(水)	大阪市	7日(金)	大分県日田市
8日(土)	大分県中津市耶馬溪町	9日(日)	北九州市	10日(月)	山口県下関市
11日(火)	山口県山口市・宇部市	13日(木)	長崎市	14日(金)	熊本県人吉市
15日(土)	宮崎市	16日(日)	宮崎市	17日(月)	宮崎県児湯郡川南町
18日(火)	鹿児島県志布志市	19日(水)	鹿児島県日置市	21日(金)	香川県高松市
22日(土)	神戸市	23日(日)	大阪市	24日(月)	滋賀県甲賀市信楽町
25日(火)	岐阜県中津川市加子母	26日(水)	名古屋市	28日(金)	愛知県豊明市
29日(土)	静岡県焼津市	30日(日)	静岡県焼津市		

11月

1日(火)	静岡県藤枝市	2日(水)	静岡県清水市	3日(木)	静岡県富士宮市
4日(金)	静岡市	5日(土)	静岡県富士市	6日(日)	静岡県下田市
7日(月)	神奈川県藤沢市	8日(火)	横浜市	9日(水)	東京都新宿区
10日(木)	東京都練馬区	11日(金)	東京都港区	12日(土)	東京都
13日(日)	東京都世田谷区	14日(月)	東京都	15日(火)	長野市
16日(水)	長野県上伊那郡中川村	17日(木)	名古屋市	19日(土)	大阪府富田林市
22日(火)	大阪市	23日(水)	兵庫県神崎郡市川町		

マゴソスクールからのお知らせ

2016年9月現在

会員数 137名

これまでに頂いたご寄附の総額

(会費並びに各種募金) 4,524,486円

都道府県別					
北海道	4	石川	1	岡山	1
青森	1	福井	1	広島	1
岩手	3	山梨	0	山口	7
宮城	1	長野	9	徳島	2
秋田	0	岐阜	4	香川	3
山形	0	静岡	1	愛媛	1
福島	4	愛知	11	高知	2
茨城	0	三重	2	福岡	1
栃木	3	滋賀	1	佐賀	3
群馬	0	京都	2	長崎	0
埼玉	4	大阪	14	熊本	1
千葉	5	兵庫	5	大分	3
東京	14	奈良	3	宮崎	0
神奈川	1	和歌山	0	鹿児島	0
新潟	1	鳥取	4	沖縄	4
富山	2	島根	0	海外	1
				不明	6

パンフレットの訂正

振込先で、「郵便貯金口座御お持ちの方は『郵便局自動払込みサービス』をご利用いただけます。」となっておりましたが、『郵便局自動送金サービス』の間違いでした。

会の運営に関して

マゴソスクールを支える会は、現在20名の運営委員が運営費を拠出し、それを使ってパンフレット、会報の作成、郵送、会員バッジの作成等をおこなっており、皆様から頂戴した会費や寄付金は全額マゴソスクールのために使わせていただいております。

会報の郵送のために、未使用切手やはがきを会の事務局に送って頂くなど、ご協力いただければありがたく思います。

1年目の会費・寄付金の会計報告は次号の会報でさせていただきます。予定でございます。

2017年 春！！

ダン校長先生と、オギラ教頭先生がやってくる！！

2017年5月9日(火)から6月29日(木)まで来日し、早川千晶さん、大西匡哉さんと全国を回ります。

ツアースケジュールはこれから調整に入ります。イベントを企画してみたい方は、早川千晶さん(chiakinairobi@gmail.com)まで、ぜひご連絡ください。



子どものころのトニー君（表紙の写真で、女の子の横に立っているドレッドヘアーの若者。マゴソスクールの音楽リーダー）

